



地域国際化協会の広域防災連携

～地域国際化協会連絡協議会の活動と広域災害シミュレーション訓練について～

(一財)自治体国際化協会多文化共生部 (地域国際化協会連絡協議会事務局)

地域国際化協会連絡協議会について

(1) 組織の概要

地域国際化協会連絡協議会（以下、協議会）は、全国62の都道府県・政令指定都市に設立されている地域国際化協会の相互連携と情報交換を通して、地域レベルの国際化に寄与するため構成されています。クリアは協議会の事務局として、協議会活動をサポートしています。

(2) 活動の内容

協議会の主な事業としては①**地域国際化協会職員を対象とした「研修の実施」**、②**各地域国際化協会や各地域ブロックの「連携・活動の促進、共通課題の研究」**、③**「情報の共有・交換の促進」**があります。

①研修の実施について

事業実施のノウハウ習得や直面する課題の検討を行うとともに、職員間の情報交換ネットワークの構築を図ることを目的に、年3回の研修を実施しています。

2014年度は事業担当者向けとして「外国人からの生活相談」および「外国につながる子どもの教育」、また管理者向けとして「多文化共生社会を考える」をテーマに研修を実施しました。

また、各地域国際化協会の職員が、各種研修を受講するための旅費交通費について助成する制度もあります。

②連携・活動の促進、共通課題の研究について

各地域国際化協会や各地域ブロックでの連携を図るための事業を行っています。地域国際化協会が連携して行う防災訓練などの事業を支援したり、教育・防災・医療など共通する課題について、各ブロックからの代表者が研究・検討する「課題研究会」を開催しています。

このことにより、各地域国際化協会が単独では解決できない課題に対応するため、連携を深めていくことが可能となっています。

また、2014年度は「広域災害シミュレーション訓練」を実施し、他地域からの支援が必要な、大地震や大雨などの広域災害に対応するための訓練を実施しました。

③情報の共有・交換の促進について

各地域国際化協会の事業内容や基礎データを取りまとめた「地域国際化協会ダイレクトリー」の作成や、研修・課題研究会などの資料を掲載した「情報共有サイト」の運営などを行っています。

また、全国6つのブロックそれぞれに、地区連絡協議会が設置されています。各ブロックでは、定期的に総会や勉強会などを開催しており、各地域国際化協会がお互いに顔の見える関係を築くことにより、さらに深いネットワークを持つことができることとなっています。

これからも、協議会は各地域国際化協会の持つノウハウやネットワークを最大限共有・活用し、各地域における多文化共生事業の推進を図っていきます。

協議会の組織



